

<会議資料>

平成 2 5 年度

第 2 回 練馬区立美術館運営協議会

練馬区立美術館

(平成 26 年 3 月 26 日)

## 平成25年度（第2回）練馬区立美術館運営協議会 目次

1	練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
2	練馬区立美術館運営協議会条例	2
3	平成26年度 事業計画(案)	
(1)	平成26年度 予算	4
(2)	展覧会事業	
	平成26年度 展覧会事業日程(案)	6
	松林桂月展 (案)	7
	コレクション展(案)	8
	N+N展(案)	9
	あしたのジョー 展 (案)	10
	シェークスピア展(案)	11
	俵有作 (案)	12
(3)	教育普及事業	
	平成26年度 教育普及事業計画(案)	13
4	平成25年度 事業中間報告	
(1)	展覧会事業	
	平成25年度 展覧会事業日程および観覧者数	16
	牧野邦夫展	18
	コレクション展	19
	N+N展 2013	20
	鹿島茂コレクション3展	21
	宮芳平展	22
	渡辺千尋展	23
	野口哲哉展	24
(2)	教育普及事業	
	平成25年度 教育普及事業実績	25
	平成25年度 博物館実習実績	34
5	平成25年度ぐるっとパスの利用状況	35
6	美術の森緑地の計画	別紙

# 第14期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

平成25年8月6日現在

		氏 名	役 職	
学識経験者	委員	栗 津 則 雄	文芸評論家	
	委員	高 橋 幸 次	日大芸術学部美術学科教授	
	委員	青 木 茂	文星芸術大学教授	
	委員	伊豆井 秀 一	埼玉県立近代美術館 専門員兼学芸員	
	委員	大 橋 皓 也	洋画家	
	委員	佐 藤 康 宏	東京大学教授	
	委員	松 本 透	東京国立近代美術館副館長	
	委員	井 出 洋一郎	府中市美術館館長	
練馬区議会 議員	委員	関 口 和 雄	区議会議員	
	委員	米 沢 ちひろ	区議会議員	
	委員	さわむら 信太郎	区議会議員	
	委員	松 村 良 一	区議会議員	
公募区民	委員	中 島 悠 子	公募区民	
	委員	安 斉 紀 子	公募区民	
	委員	畑 浩 二	公募区民	
美術関係者	委員	伊 藤 定 夫	練馬・文化美術の会代表	
	委員	宮 澤 歳 男	練馬区美術家協会副会長	
学校教育関係者	委員	堀 井 安 伸	石神井東中学校長	
	委員	吾 妻 彰	谷原小学校教諭	

## 練馬区立美術館運営協議会条例

昭和 60 年 10 月 8 日

条例第 45 号

(設置)

第 1 条 練馬区立美術館(以下「美術館」という。)の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事項)

第 2 条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第 3 条 協議会は、委員 19 人以内をもって組織する。

(委員)

第 4 条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8 人以内
- (2) 練馬区議会議員 4 人以内
- (3) 区民 3 人以内
- (4) 美術団体関係者 2 人以内
- (5) 学校教育関係者 2 人以内

2 前項第 3 号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第 5 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第 6 条 協議会に会長および副会長を各 1 人置く。

2 会長および副会長は、委員が互選する。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 7 条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議長は、会長が務める。

4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決する

ところによる。

- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

- 2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

- 3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、美術館において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則 この条例は、公布の日から施行する。

付 則 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

### 3.平成26年度事業計画(案)

#### (1)平成26年度 予算

歳入

単位:千円

科目 \ 年度	25年度	26年度	増 減	伸び率
総 額	133,767	307,322	173,555	229.7%
1 美術館使用料	10,557	10,392	165	1.6%
2 財産収入	30	30	0	0%
3 諸収入	10,445	12,540	2,095	20.1%
4 諸収入(学芸補助員)	1,060	1,376	316	29.8%
5 一般財源	111,675	282,984	171,309	253.4%

歳出

単位:千円

科目 \ 年度	25年度	26年度	増 減	伸び率
総 額	133,767	307,322	173,555	229.7%
1 運営費 (一般事務費)	12,133	15,406	3,273	26.9%
2 維持管理費	61,363	62,256	893	1.4%
3 展示事業経費	51,059	72,800	21,741	42.6%
4 教育普及経費	1,639	1,850	211	12.8%
5 美術の森緑地整備費	7,573	134,864	127,291	780.8%
6 収蔵庫改修等工事	0	20,146	20,146	

## 美術作品取得基金現在高

単位:円

基 金	平成 26 年 2 月末現在高		
	美術作品取得額	現 金	計
100,000,000	13,587,500	86,412,500	100,000,000

## (2) 展覧会事業(案)

## 平成26年度 展覧会事業日程(案)

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月13日 6月8日 <49日間>	【有料】 没後50年 松林桂月展 水墨を極め、画中に詠う				加藤
6月13日 6月22日 <9日間>	【無料】 第60回練馬区美術家協会展	内田	6月13日	【無料】 コレクション展 時代と美術2 <27日間>	真子
6月24日 6月29日 <6日間>	(一般貸出)		7月13日		
7月3日 7月13日 <10日間>	【無料】 N + N展2014	真子	<27日間>		
7月20日 9月21日 <55日間>	【有料】 あしたのジョ、の時代 1967 - 1973展				喜多
9月28日 11月30日 <55日間>	【有料】 見つめて、シェイクスピア！展				小野
12月6日 12月28日 <20日間>	(一般貸出)		12月6日	【無料】 俵有作 幽玄水墨の世界展(仮称) <51日間>	加藤
1月10日 1月14日 <4日間>	中学校生徒作品展	中野			
1月17日 1月22日 <5日間>	小学校連合同工展	中野			
1月24日 1月25日 <2日間>	小中学校連合書きぞめ展	中野	2月8日		
1月31日 2月8日 <8日間>	【無料】 第45回練馬区民美術展	内田	<51日間>		

2月中旬～3月末 館内工事のため展覧会休止



## 開催要項

### 1 開催趣旨

日本画家、松林桂月（1876～1963）は明治・大正・昭和の三つの時代を生き、数々の名作を残した近代を代表する日本画家である。山口・萩に生まれた桂月は、幼い頃から絵を好み、東京に出て文人画家・渡辺華山の孫弟子にあたる野口幽谷に師事し、精緻で格調高い表現を学んだ。また、親しんでいた漢詩の教養を活かして、詩・書・画の三絶の境地を目指す文人画 南画を描いたことも特筆される。桂月は、南画の真髄ともいべき水墨画においては他の画家の追随を許さず、その独特の叙情的な作風は高く評価され、1958年には文化勲章を受章している。本年は、桂月が世を去ってから50年という節目の年に当たる。この半世紀の間に開催された大規模な展覧会は、桂月の没後間もなく門人たちによって開催された遺作展と、1983年に山口県立美術館で開催された「松林桂月 その墨と色彩の妙」展のみで、近年にはその芸術を通覧できる機会はほとんどありません。そのため、桂月の名も、画も、一部の美術愛好家だけが知るところとなりつつあることが惜しまれるところである。本展は、30年ぶりとなる回顧展として、初公開を含む大作、名品で、詩書画の全てに優れた才能を示し、近代にあって水墨画の表現を極めた、桂月の豊かな芸術世界を紹介するものである。

### 2 会期

平成26年4月13日（日）～6月8日（日）

\* 巡回 山口県立美術館 平成25年8月8日～9月16日

田原市博物館

11月30日～1月13日

### 3 主催

練馬区立美術館 / 日本経済新聞社

協力＝ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン

### 4 助成

公益法人 花王芸術・科学財団

### 5 展示内容

掛軸、屏風、下図、資料ほか 約100点

### 6 図録

制作する（価格2,000円）

### 7 観覧料

有料

### 8 イベント

ゲストによるギャラリートーク（野地耕一郎、浅見貴子、加藤良造）講演会（村田隆志）読み語り（銀河万丈 浅田次郎作『江戸残念考』）コンサート（琵琶：荒井靖水、箏：荒井美帆）ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンコンサート（バイオリン：土谷茉莉子 加藤美菜子 ヴィオラ：小倉萌子 チェロ：山田健文）

### 9 観覧者

12,250人（250人/日）

### 10 担当

学芸員 加藤陽介

練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術2  
「1955～70年 大沢昌助(人物の構図)を中心に」

開催要項

- 1 開催趣旨 練馬区立美術館の開館30周年に向けたコレクション展の、第2回目を開催する。  
当館の所蔵品約3,200点(寄託作品含む)は、近現代の日本の作家を中心に収集されてきた。「時代と美術」と名付けたこのシリーズは、作品や作家を単体で眺めるのではなく、それぞれがどのような時代背景の中で生まれ、どのような役割を担ってきたのかという視点を持ち展開していく。今回は1955～70年の高度経済成長期に焦点を当て、大沢昌助を中心に、麻田鷹司、岡本唐貴、小野木学、小野具定、オノサトトシノブ、小嶋悠司、近藤竜夫、白髪一雄、高山良策、中村宏、牧野邦夫、山口長男、山内秀臣らの作品を展示する。
- 2 会期 平成26年6月13日(金)～7月13日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館
- 4 内容 絵画、版画、彫刻等 約50点
- 5 図録 リーフレット(A3二ツ折)を作成・無料配布
- 6 観覧料 無料
- 7 イベント ギャラリートーク(2回開催)  
鑑賞プログラム「トコトコ美術館」(4回開催)  
講師：当館学芸員 対象：3～6歳+保護者・各回5組  
ワークショップ(1回開催)  
講師：当館学芸員 対象：小学生～大人・20名
- 8 観覧者見込 6,750人(250人/日)
- 9 担当 学芸員 真子みほ

## N+N 展 2014

「油絵の魅力 うつくしい いろ・かたち・マティエール 世代を超えて伝わるもの」(仮)

### 開催要項

- 1 開催趣旨 6 回目を迎える、日本大学芸術学部(日藝)美術学科と練馬区立美術館との共同企画展。今回は、卒業生や教員を含み、現代洋画壇で活躍する油彩画の作家、20 余名による展覧会。各作家は、近作及び初期作品を併せて出品し、これらを並べて展示することで「日藝絵画」に世代を超えて伝わる基軸を視覚的に浮かび上がらせようとする試みとなる。なお、この展覧会は平成 26 年度日本大学芸術学部長指定研究の一環として開催される。  
  
参加予定作家：石田淳一、蛭子真理央、太田冬美、大庭英治、大山智子、櫻井孝美、瀬島匠、高橋和正、寺久保文宣、福島唯史、宮本薫 他
- 2 会期 平成 26 年 7 月 3 日(木)～7 月 13 日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館 / 日本大学芸術学部美術学科
- 4 内容 油彩画約 40 点を展示
- 5 図録 展覧会終了後、日本大学芸術学部美術学科が記録集を制作予定
- 6 観覧料 無料
- 7 イベント ギャラリートーク、講座等開催予定
- 8 鑑賞者見込 2,400 人(240 人/日)
- 9 担当 学芸員 真子みほ

## 「あしたのジョー、の時代」(仮)

### 開催要項

- 1 開催趣旨 

「あしたのジョー」は、高森朝雄（梶原一騎の別名義）原作、ちばてつやの作画で1967年暮れから1973年まで『週刊少年マガジン』に連載されたボクシング漫画である。連載当初から人気を博し、アニメ化、実写映画化が行われ、連載終了から40年が経過した今なお、新たなファンを獲得し続けている。

主人公「ジョー」こと矢吹丈は、打たれても打たれても決して相手に屈せず、血反吐にまみれながら強敵に立ち向かった。その姿は、大人が作り上げた社会体制の矛盾に対して声をあげる同時代の青年の共感呼んだ。「われわれは明日のジョーである」と声明を出し、日本航空「よど号」をハイジャックした赤軍派。ジョーのライバル力石徹の劇中での死に、現実に告別式を執り行った寺山修司たち。本作は様々な事件や人々と結びついて社会現象を呼び起こし、一フィクションをこえ、時代のシンボルとして多くの若者の心に受容されていった。

本展では、生身の肉体を武器にし、キラキラとした生をいきた「あしたのジョー」の作品世界を、ちばてつやによる魅力的な原画の数々から構成し、あわせて本作の受容の様相を紹介する。また、時代の空気を共有した芸術文化の動きをたどることで、「あしたのジョー」をキーワードにこの時代を振り返る。
- 2 会期 平成26年7月20日(日)～9月21日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館 / 朝日新聞社
- 4 協力 ちばてつやプロダクション、講談社、虫プロ、JAGDA、FMPJ
- 5 内容 原画約150点、印刷物約100点、美術作品・写真約70点。
- 6 図録 図録兼書籍として刊行予定。
- 7 観覧料 有料
- 8 イベント ちばてつやギャラリートーク、コンサート、読み語り(銀河万丈)、パフォーマンス等。
- 9 鑑賞者見込 19,250人(350人/日)
- 10 担当 学芸員 喜多孝臣

# 「見つめて、シェイクスピア！」展

## 開催要項

### 1 開催趣旨

本年は、16世紀イギリス（イングランド）を代表する劇作家で詩人、ウィリアム・シェイクスピアの生誕450年にあたる。それを記念し、シェイクスピアをテーマに展覧会を開催する。出品作品は、まず約90点にのぼる個性豊かな皮革装丁本。これらは世界でも権威あるイギリスの製本装丁家協会「デザイナー・ブックバインダーズ」によって、2013年に開催された「第2回デザイナー・ブックバインダーズ国際製本コンペティション」の入賞作品であり、ヨーロッパ7か国を巡回後、本展へ出品される。このコンペティションでは、毎回テーマが提示されるが、今回のテーマは生誕450年を見据え、「シェイクスピア」であった。世界中の装丁家たちが、シェイクスピアの作品や彼をテーマにした文学作品から1冊を選び、その内から得たイメージーションに基づき、装丁を施している。

本展を構成するもう一方の出品作品は、シェイクスピアの作品に主題を得た絵画作品や挿絵本である。フランス・ロマン主義の旗手、ウジェーヌ・ドラクロワによる版画《ハムレット》やエコール・ド・パリの画家、マルク・シャガールの版画による挿絵本《テンペスト》、またイギリスの挿絵画家アーサー・ラッカムやアーツ・アンド・クラフツ運動のメンバーでもあったウォルター・クレインによる美しい挿絵本などを紹介する。  
(巡回 = 滋賀県立近代美術館：平成27年2月7日[土]～4月5日[日])

- |        |  |
|--------|--|
| 2 会期   | 平成26年9月28日(日)～11月30日(日)                        |
| 3 主催   | 練馬区立美術館 / 東京新聞                                 |
| 4 後援   | 在日イギリス大使館(予定)                                  |
| 5 展示内容 | 皮革装丁本、版画、油彩画、水彩画、古書など、約200点                    |
| 6 図録   | 制作する   |
| 7 観覧料  | 有料   |
| 8 イベント | 講演会(河村錠一郎)、ワークショップ、ギャラリー・トーク、パフォーマンス読み語り(銀河万丈) |
| 9 観覧者  | 11,000人(200人/日)                                |
| 10 担当  | 学芸員 小野寛子                                       |

# 俵有作 幽玄水墨の世界展（仮称）

## 開催要項

### 1 開催趣旨

たわらゆうさく  
俵有作（1932～2004）は日本の古玩具・古民具の収集家であり、何冊もの研究書を上梓した古玩具研究者として一面と共に、水墨を基調としたドローイング作品を発表し続けた作家である。絵は独学で学んだものの、芹沢銈介や猪熊弦一郎らに愛された彼の作品は、あるものは書を想起させ、またあるものは山水画、そして仏画をイメージさせる。

ダヴィンチを慕い、南宋山水画に遊び、アンリ・ミショーを想う…。

静かなる観念世界を墨の濃淡と微妙な筆致で現出させる稀有な美術家であると言える。

練馬区に長年暮らした、ゆかりの作家ではあるものの、国内よりむしろ海外で高い人気と評価を得ており、今回の展示も米国・インディアナポリス美術館、ヒューストン美術館を巡回しての凱旋展であると同時に、国内の美術館では初めての展覧会である。

- |          |                            |
|----------|----------------------------|
| 2 会期     | 平成26年12月6日(土)～平成27年2月8日(日) |
| 3 主催     | 練馬区立美術館                    |
| 4 展示内容   | 掛軸、リトグラフ、資料ほか 約50点         |
| 5 図録     | リーフレット作成                   |
| 6 観覧料    | 無料                         |
| 7 イベント   | ゲストによるギャラリートーク(尾久彰三) 講演会ほか |
| 8 観覧者見込み | 12,750人(250人/日)            |
| 9 担当     | 学芸員 加藤陽介                   |

平成26年度 教育普及事業計画(案)

館内事業

）展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	コレクション展関連ワークショップ 講師:当館学芸員	6月	1	小学生 ~大人	20名
2	あしたのジョーの時代展関連ワークショップ	8月	8	小学生	20名
3	見つめて、シェイクスピア!展関連 「皮革装丁ワークショップ」	未定	2	小学生 ~大人	未定

ギャラリートーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	松林桂月展	未定	4	自由参加	
2	コレクション展	未定	2	自由参加	
3	N+N展	未定	1	自由参加	
4	あしたのジョー、の時代展	未定	4	自由参加	
5	見つめて、シェイクスピア!展	未定	2	自由参加	
6	俵有作展	未定	3	自由参加	

コンサート・ライブパフォーマンス

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	松林桂月展関連 琵琶と琴のコンサート	4月19日(土) 15:00~	1	自由参加	
2	松林桂月展関連 ラ・フォル・ジュルネコンサート	4月26日(土) 15:00~	1	自由参加	
3	銀河万丈読み語り	松林展、あしたのジョー展、 シェイクスピア展	3	中学生 以上	各70名
4	あしたのジョー、の時代展関連 コン서트、パフォー マンス	未定	2	自由参加	
5	シェイクスピアコンサート、パフォー マンス	未定	2	自由参加	

鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	トコトコ美術館 テーマ:未定	6月	4	3歳~6歳 +保護者	各回 5組
2	トコトコ美術館 テーマ:未定	1月	4	3歳~6歳 +保護者	各回 5組

講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	松林桂月記念講演会「最後の南画家 松林桂月の人と芸 術」講師:松田隆志(大阪国際大学専任講師)	5月10日(土)	1	中学生 以上	70名
2	あしたのジョー、の時代展関連講演会 講師:未定	未定	1	中学生 以上	70名
3	見つめて、シェイクスピア!展関連講演会 講師:河村 錠一郎(英文学者)	未定	1	中学生 以上	70名
4	見つめて、シェイクスピア!展関連講演会(装丁) 講師:未定	未定	1	中学生 以上	70名
5	見つめて、シェイクスピア!展関連講演会 講師:未定	未定	1	中学生 以上	70名

）美術講座（美術に関する知識を学ぶ）

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	美術史講義「浮世絵」 講師：加藤 陽介（当館学芸員）	9月	1	中学生以上	60名
2	美術史講義「仏像」 講師：小倉 絵里子（高崎市タワー美術館学芸員）	10月	1	中学生以上	60名
3	美術史講義「印象派」 講師：小野 寛子（当館学芸員）	12月	1	中学生以上	60名
4	日本刺繍（額絵）実技 講師：宗 真理子（刺繍家）	9月～10月	1 （3日間）	中学生以上	20名
5	版画（ガリ版）実技 講師：齋藤 美穂子（町田市立国際版画美術館普及係学芸員）	10月11日（土）～12日（日） 10:00～17:00	1 （2日間）	中学生以上	20名
6	鉛筆デッサン実技 講師：未定	1月	1 （2日間）	中学生以上	20名

）美術館を楽しむワークショップ（人が集う「場」作り）

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	四季のみじたく シリーズ①夏のみじたく 講師：前田 真理子（デザイナー）	7月6日（日） 10:30～17:00	1	小学4年生以上	20名
2	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッターージュ遊び	8月	4	5歳～ 小学3年生	各回 10名
3	四季のみじたく シリーズ②秋のみじたく 講師：宮園 夕加（ポタンデザイナー）	9月7日（日） 13:30～17:00	1	小学4年生以上	20名
4	四季のみじたく シリーズ③冬のみじたく 講師：米山 知歩（こぎん刺し作家） 予定	11月	1		20名
5	四季のみじたく シリーズ④春のみじたく 講師：nido（ステンドグラスユニット）	2月8日（日）10:30～12:30、 14:00～15:00	1		20名

）その他

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	かえっこワークショップ（fuji office）	8月	1	子ども	
2	軽井沢お泊りワークショップ 講師：未定 ベルデ軽井沢で行う1泊2日のワークショップ2回目。	10月25日（土） ～26日（日）	1 （2日間）	小学生以上	20名
3	商店街を楽しむワークショップ（予定）	未定	1 （2日間）	小学生以上	20名

学校関連事業

）スクールプログラム パンフレットを作成し各学校に配布。

団体鑑賞 美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする

施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内（バックヤードを含む）を案内し、施設を紹介する

職場体験 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える

職場訪問 生徒が来館し職員へのインタビューと、館内見学を行う

出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする



### ）ティーチャーズディ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

平成26年度は5回開催する。

	展 覧 会 名	開催予定日	参加者
1	松林桂月展	4月15日(火)	
2	コレクション展	6月17日(火)	
3	あしたのジョー、の時代展	7月29日(火)	
4	見つめて、シェイクスピア！展	9月30日(火)	
5	俵有作展	12月9日(火)	

### ）スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行う。これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成された。

### 3.平成25年度事業報告

#### (1) 展覧会事業

##### 平成25年度 展覧会事業日程および観覧者数

###### 企画展等

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
4月14日(日) ～6月2日(日)	牧野邦夫 写実の精髓	43	11,760 (280)	17,415 (405)	148.1%
6月27日(木) ～7月7日(日)	N+N2013(練馬区立美術館・日大芸術学部合同展) アートいいいいいばあ アートの思考法	10	2,000 (200)	2,232 (223)	111.6%
7月14日(日) ～9月8日(日)	鹿島茂コレクション3 モダン・パリの装い - 19世紀から20世紀初頭のファッション・ブ レート	50	12,250 (245)	8,993 (180)	73.4%
9月15日(日) ～11月24日(日)	生誕120年 宮芳平展 野の花として生きる。	61	10,000 (164)	6,718 (110)	67.2%
2月16日(日) ～4月6日(日)	野口哲哉の武者分類図鑑展	43	8,000 (186)	11,000 (見込) (256)	137.5%
合 計		207	44,010 (213)	46,358 (見込) (224)	105.3%
前年度		212		36,113 (170)	前年度比 128.4%

###### 2階常設展示室によるコレクション展

観覧者数は、同時開催の企画展がある場合はその観覧者数、ない場合は常設展示室の入場者数から

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
6月7日(金) ～7月7日(日)	練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術1 1930年～50年代前半 伸縮する内と外 霞光 花と蝶を中心に	27	6,250 (231)	6,515 (241)	104.2%
11月29日(日) ～2月11日(月・祝)	渡辺千尋 復刻の聖母展	60	8,360 (139)	13,962 (233)	167.0%
合 計		87	14,610 (168)	20,477 (235)	140.2%
前年度		83	観覧者数 1日当り	21,944 (264)	前年度比 93.3% 89.0%

企画展・コレクション展観覧者数(実数)比較	24年度	25年度	前年度比
	58,057	66,835 (見込)	115.1%

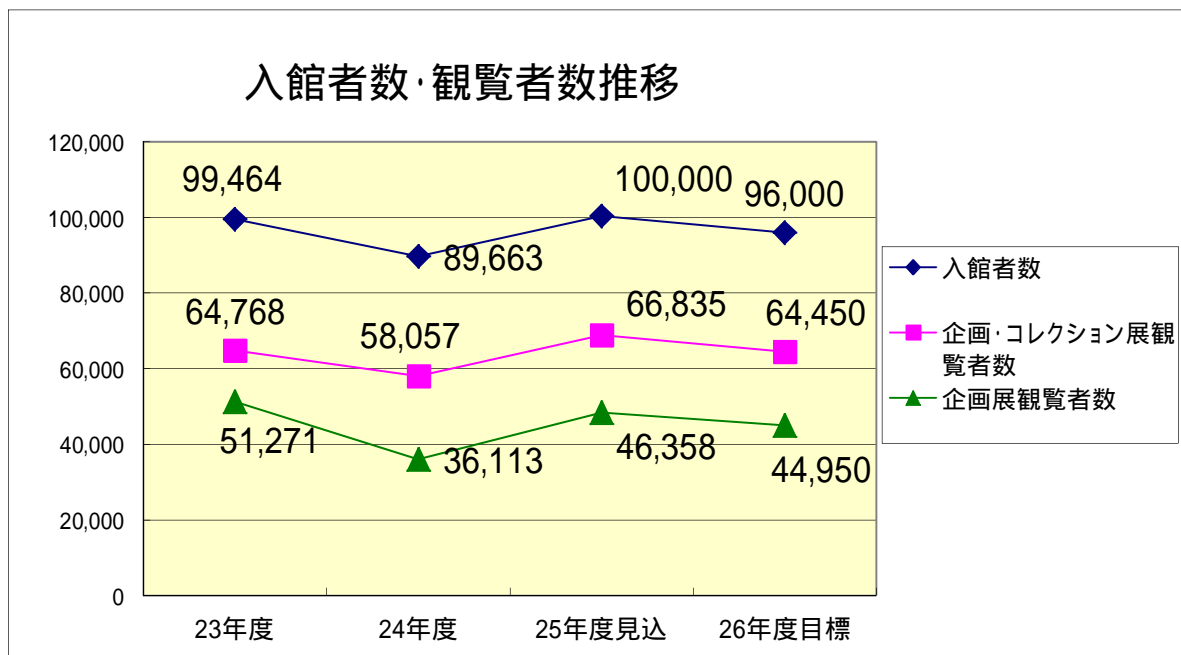
牧野邦夫展はテレビ東京「美の巨人」(視聴率5.5%)で取り上げられた日を契機に新聞、雑誌、WEBでの掲載、口コミが拡がり来館目標の5割増しであった。鹿島茂コレクション展、宮芳平展は目標を下回ったが、クオリティー高く、美術界、美術ファンのお話となった。コレクション展は、同時開催の学校展などの流れを受け、目標をはるかに上回った。「時代と美術シリーズ」は当館のコレクションを4回で紹介するもので、順調なスタートを切った。渡辺千尋展はNHKの日曜美術館で取り上げられ、その精緻なエンゲレービング(銅版画)は多くの人を魅了した。野口哲哉展は会期中であるが、マスコミ、WEBで大きく取り上げられ日を追う毎に盛況になり11,000人(目標比138%)の来客を見込んでいる。目標を達成すると開館以来、初の年間10万人を超える見込み。

各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
6月7日(金) ～6月16日(日)	第59回練馬区美術家協会展	9	1,401 (156)	
1月11日(土) ～1月15日(水)	中学校生徒作品展	4	3,396 (849)	
1月18日(土) ～1月23日(木)	小学校連合同工展	5	9,504 (1,901)	
1月25日(土) ～1月26日(日)	小・中学校連合書初め展	2	11,432 (5,716)	
2月1日(土) ～2月9日(日)	第44回練馬区民美術展	8	2,182 (273)	
合 計		28	27,915 (997)	前年度比 104.8%
前年度		29	26,649 (919)	

入館者数比較	24年度	25年度	前年度比
	89,663	100,000	111.5%

平成25年度の入館者数は見込の数値となっています。



# 「牧野邦夫 写実の精髓」展

## 開催要項

### 1 開催趣旨

牧野邦夫(1925～86年)は、大正末に東京に生まれ、1948年に東京美術学校油画科を卒業したが、戦後の激動期に次々に起こった美術界の新たな潮流に流されることなく、まして団体に属して名利を求めることなどからは遠く身を置いて、ひたすら自己の信ずる絵画世界を追求し続けた。

高度な油彩の技術で、胸中に沸き起こる先鋭で濃密なイメージを描き続けた牧野の生涯は、描くという行為の根底に時代を超えて横たわる問題と格闘する日々であった。レンブラントへの憧れを生涯持ち続けた牧野の視野には、一方で伊藤若冲や葛飾北斎、川鍋暁斎といった画狂人たちの系譜に連なるような、描くことへの強い執着を感じる。北方ルネサンス的なリアリズムと日本の土俗性との葛藤という点では、岸田劉生の跡を継ぐ者という見方も出来るだろう。

没後の1990年に開催された遺作展は作品愛好家と画家たちに強い印象を与えたが、牧野が精魂こめて描き遺した作品群を再度調査し直し、より充実度を増しての公開を目指す20年後の本展では、より多くの人々にその真価を気付いてもらう絶好の機会となった。

2 会期 平成25年4月14日(日)～6月2日(日)

3 主催 練馬区立美術館 / 日本経済新聞社、テレビ東京  
\*協賛 = ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン  
サントリーホールディング株式会社

4 内容 油彩画・素描など120点

5 観覧料 有料

6 図録 図録兼書籍(3,300円)として制作(求龍堂)  
(2,530冊販売、購入比率15%)

### 7 イベント

- ・学芸員とゲストによるギャラリートーク、講演会  
(五味文彦、諏訪敦、石黒賢一郎、山下裕二)
- ・コンサート  
ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンスペシャルコンサート  
(フルート：長谷見誠、ピアノ：神水睦子)  
牧野邦夫が愛したギター曲コンサート  
(フラメンコギタリスト：三澤勝弘)
- ・声優 銀河万丈による読み語り(江戸川乱歩「人間椅子」)

8 観覧者数 17,415人(405人/日)当初見込 11,760人(280人/日)

9 担当 主任学芸員 野地耕一郎

## 練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術1

### 「1930～50年代前半 伸縮する内と外 鬘光《花と蝶》を中心に」

#### 開催要項

- 1 開催趣旨 練馬区立美術館の開館30周年に向けたコレクション展の、第一回目を開催した。  
当館の所蔵品約3,000点(寄託作品含む)は、近現代の日本の作家を中心に収集されてきた。「時代と美術」と名付けたこのシリーズは、作品や作家を単体で眺めるのではなく、それぞれがどのような時代背景の中で生まれ、どのような役割を担ってきたのかという視点を持ち展開していく。  
第1回は1930～50年代前半に焦点を当て、鬘光を中心に、斎藤長三や鳥海青児、寺田政明、鶴岡政男らの、戦中戦後の作品を展示した。
- 2 会期 平成25年6月7日(金)～7月7日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館
- 4 内容 絵画、版画、彫刻等 46点
- 5 図録 リーフレットを作成・無料配布
- 6 観覧料 無料
- 7 イベント ギャラリートーク 6月9日(日)、15日(土)  
鑑賞プログラム「トコトコ美術館 テーマ：花」(2回開催) 6月22日(土) 講師：当館学芸員 対象：3～6歳+保護者・各回5組  
ワークショップ「わたしのれきし 年表を作る」7月7日(日) 講師：当館学芸員 対象：小学生～大人・20名
- 8 観覧者 6,515人(241人/日) 当初見込6,250人(232人/日)
- 9 担当 学芸員 真子みほ

# N+N 展 2013 「アートいないないばあ アートの思考法」

## 開催要項

- 1 開催趣旨 5 回目を迎える日本大学芸術学部（日藝）美術学科と練馬区立美術館の共同企画展。今年度は卒業生や教員 16 名の作品を展示した。  
子供をあやす時に行う「いないいないばあ」が、分離・再会、いない・いる、隠れる・現れるといった、予期や願い、驚きや喜びに通じるように、普段は隠されている芸術作品の制作や発表にともなう独特の思考法と世界観を、作家本人のテキストを作品とともに展示することであらわにし、アートの思考の可能性を再検証した。なお、この展覧会は平成 25 年度日本大学芸術学部長指定研究の一環として開催された。
- 2 会期 平成 25 年 6 月 27 日（木）～7 月 7 日（日）
- 3 主催 練馬区立美術館 / 日本大学芸術学部美術学科
- 4 内容 彫刻、絵画、写真など 77 点を展示
- 5 図録 展覧会終了後、日本大学芸術学部美術学科が記録集を制作
- 6 観覧料 無料
- 7 イベント  
ワークショップ「マスキングテープでいないないばあ 地上絵をつくる - 」  
6 月 29 日（土）講師：海老沢一仁（出品作家）対象：小学生以上・20 名  
アーティストトーク 6 月 30 日（日）大槻孝之（出品作家、美術学科教授）、  
笹井祐子（出品作家、美術学科准教授）、藤原成一（評論家）  
シンポジウム 7 月 6 日（土）大西若人（朝日新聞社編集委員）、蔵屋美香（東京国立近代美術館美術課長）、高橋幸次（美術学科教授）、富井大裕（出品作家、美術学科助教）
- 8 鑑賞者 2, 232 人（223 人/日）当初見込 2, 000 人（200 人/日）
- 9 担当 学芸員 真子みほ

# 鹿島茂コレクション3 モダン・パリの装い

## 19世紀から20世紀初頭のファッション・プレート

### 開催要項

- 1 開催趣旨 平成23年度よりフランス文学者の鹿島茂氏(1949- / 明治大学教授)の膨大な古書コレクションから連続的に展覧会を開催している。第1回目は、19世紀フランスを代表する挿絵画家、J.J.グランヴィルを、第2回目では、アール・デコ期を中心に活躍した共にフランス、ナント出身の2人の画家 ジョルジュ・バルビエとジャン＝エミール・ラブルール を紹介した。  
第3回にあたる本展では、19世紀から20世紀初頭のアール・デコの時代までに描かれたモードのイラストレーションを紹介、合わせて、京都服飾文化研究財団の貴重なコレクションより、同時代を代表する華麗な衣裳を展示、それぞれの時代の流行のファッションから華やかな女性の装いを展覧した。  
ファッション・プレートを手掛けたアーティストとして、19世紀では、オーラス・ヴェルネ(Horace Vernet, 1789-1863)、ガヴァルニ(Gavarni, 1804-66)、ルイ・マリー＝ランテ(Louis-Marie Lanté, 1789 - ?)を、20世紀初頭では、バルビエと同じく、アール・デコの時代に活躍したシャルル・マルタン(Charles Martin, 1848 - 1934)、アンドレ・マルティ(André Marty, 1882 - 1974)、ジョルジュ・ルパップ(Georges Lepape, 1887 - 1971)の作品を中心に紹介。フランス近代のファッション・プレートを中心に、イラストレーションの熟達した世界を披露した。
- 2 会期 平成25年7月14日(日)～9月8日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館 / 読売新聞社 / 美術館連絡協議会
- 4 後援 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本
- 5 協力 公益財団法人 京都服飾文化財団
- 6 特別協賛 資生堂
- 7 協賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網
- 8 展示内容 版画、古書(挿絵本)、ポスター、スケッチ、衣裳を中心とした約200点
- 9 図録 図録兼書籍(3,300円)として制作(求龍堂)(941冊販売・購入比率10%)
- 10 観覧料 有料
- 11 イベント 講演会(鹿島茂、深井晃子) ギャラリートーク(鹿島茂)  
シャンソン・コンサート(広瀬敏郎) 読み語り(銀河万丈)
- 12 観覧者 8994人(183人/日) 当初見込12,250人(250人/日)
- 13 担当 学芸員 小野寛子

# 「生誕 120 年 宮 芳平展 野の花として生きる。」

## 開催要項

- 1 開催趣旨 新潟県魚沼に生まれた宮芳平(1893～1971年)は、東京美術学校に学びます。在学中、第8回文展に自信作《椿》を出品するも落選、このとき審査員長であった森鷗外を訪ねたことから二人の交流がはじまり、宮をモデルとした鷗外の短編小説「天寵」が生まれました。1915年の第9回文展にはアールヌーボーを取り入れた象徴派風の点描画による作品《海のメランコリー》が入選。初期にはキリスト教的雰囲気をもった制作を続け、やがて1923年に長野県諏訪高等女学校の美術教師として赴任し、65歳で退職するまで教職を務めながら、自然を対象に主観的風景画を描き続けました。

本展は生誕120年を記念し、生涯を市井の画家として生きた宮の画業を油彩画作品、素描、銅版画、ペン画などにより回顧するものです。
- 2 会期 平成25年9月15日(日)～11月24日(日)  
(巡回先 茅野市美術館、島根県立石見美術館、新潟県立近代美術館  
安曇野市豊科近代美術館)
- 3 主催 練馬区立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 4 助成 公益財団法人UFJ信託地域文化財団
- 5 協賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網
- 6 協力 日本通運
- 7 内容 宮芳平の油彩画、版画、素描、資料など約200点。
- 8 図録 図録兼書籍(2,800円)として制作(求龍堂)。  
販売数443冊 6.6%(図録購入者/入場者)
- 9 観覧料 有料
- 10 イベント 講演会(山崎一穎) ギャラリートーク(野地耕一郎、喜多)  
記念コンサート(大松暁子、塚田誠) 読み語り(銀河万丈 森鷗外天寵)
- 11 観覧者数 6,718人(110人/日) 当初見込10,000人(164人/日)
- 12 担当 学芸員 喜多孝臣



# 渡辺千尋 - 復刻の聖母 - 展

## 開催要項

- 1 開催趣旨 1944年、東京に生まれた渡辺千尋は、桑沢デザイン学校でグラフィックを学び、当初はデザインや挿画の仕事に携わったが、かたわら銅版画の制作をはじめ、1979年日本版画協会奨励賞を受賞し、1993年にはプラハ国立美術館に「象の風景」シリーズ全作品が買い上げられるなど、2009年に急逝するまで銅版画家として活躍した。その一方で、『ざくろの空 頓珍漢人形伝』（第1回蓮如賞受賞）などを著した文筆家としての活動も知られている。また、渡辺は16世紀末に日本ではじめて制作された銅版画とされている「セビリヤの聖母」を復刻し、その道程は自身の著書『殉教の刻印』（第8回小学館ノンフィクション大賞優秀賞受賞）に詳細に記されている。

本展では、この復刻の「セビリヤの聖母」に焦点をあてながら、渡辺の画業を、初期のグラフィックの仕事から銅版画、油彩画まで紹介した。

- 2 会期 平成25年11月30日（土）～2月9日（日）
- 3 会場 2階常設展示室
- 4 主催 練馬区立美術館
- 5 展示内容 版画、装丁、油彩など約50点
- 6 図録 リーフレットを制作（500円、372冊販売・購入比率3%）
- 7 観覧料 無料
- 8 イベント ゲスト・トーク（中林忠良氏） 舞踏（吉本大輔[舞踏 天空揺籃]、高橋理通子、石川慶） ギャラリー・トーク
- 9 観覧者数 13,962人（233人/日）当初見込8,360人（190人/日）
- 10 担当 学芸員 小野寛子

むしやぶるいずかん  
「野口哲哉の武者分類図鑑」展  
開催要項

1 開催趣旨

1980年生まれの野口哲哉は、実際の制作と同じ手順で精巧なミニ甲冑を作り、人形に着せて、その武者たちの物語を紡ぎだす、洒脱と迫真を相持った美術家です。

南蛮渡来のシャネルのマークを家紋とした甲冑を身にまとった“紗鎌家”の武者像「シャネル侍着甲座像」がある一方で、兜に付いたプロペラ型の立物で空中を浮遊する武者の絵画作品「ホバリングマン 浮遊図」は当時あたかもそんな武者がいたかのように、巧妙に古びた画面を演出しています。野口が作品を制作する際に思い描くストーリーは彼曰く“でっちあげ”ですが、サムライ、甲冑への知識に裏付けられた空想世界は実に豊かで、史実とのはざまを行き来するユニークで独創的なものとなっている。

加えて、甲冑の表現の正確さや、サムライたちの立ち振る舞い、表情の豊かさが作品に厚みを与えていると言えよう。

作家はまだ30代半ばで活動期間は短いとはいえ、コレクターは国内外に及び、展覧会出品作、個展での評価も高く、今まさに注目される作家の一人です。

一貫して鎧武者をモチーフに制作する野口のほぼ全作品と言える約80点を中心に、彼の発想の原点となった古今の美術作品や写真など約20点を展示し、時代を超越し、現代へと脈々と続くカッコいい鎧武者の系譜を辿る展覧会。

- 2 会期 平成26年2月16日(日)～4月6日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館 朝日新聞社
- 4 内容 野口哲哉の立体・平面作品約80点に加え、甲冑、近世・近代の絵画作品、古写真等約20点
- 5 観覧料 有料
- 6 図録 『野口哲哉ノ作品集 侍達ノ居ル処』(青幻社より図録兼書籍2,500円として発行)
- 7 イベント 講演会(藤本正行氏) 対談(山田五郎、山下裕二、諏訪敦)  
コンサート(チェロ:前田善彦、ピアノ:塚田誠) 読み語り  
(銀河万丈 菊池寛「形」ほか)
- 8 観覧者数見込 8,000人(186人/日)
- 9 担当 学芸員 加藤陽介

# 平成25年度 教育普及事業実績

平成26年3月8日現在

## 館内事業

### ） 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

#### 関連ワークショップ・講座

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加		
N+N展 関連ワークショップ	6月29日(土) 14:00～17:00	海老沢 一仁 (造形作家/アトリエこえび代表)	ベニヤ板にマスキングテープを貼って絵や模様を描いた後上からローラーで絵の具を塗り乾いたらはがす。好きな部分を切り取って各自持ち帰った	小学生以上	無料	20	26	20		
コレクション展 関連ワークショップ	7月7日(日) 13:30～17:00	真子 みほ (当館学芸員)	作品を鑑賞した後「一つにつながっていること」を条件に自由な形、材料で年表を作った	小学生以上	300	20	20	19		
鹿島コレクション3 関連美術講座	8月3日(土) ～4日(日)	齋藤 美穂子 (町田市国際版画美術館普及係学芸員)	展覧会鑑賞後、2日間かけて木版リグラフに挑戦した。プレス機の代わりに足で踏み、同じ班から4種類ほどの作品を生み出した	小学生	1,000	20	37	20		
鹿島コレクション3 関連ワークショップ	ぼんぼんステンシル いろんな型紙で絵を描こう[A]	8月2日(金) 13:30～17:00	真子 みほ (当館学芸員)	展覧会でポショワールの作品を鑑賞後、厚紙を好きな形にくり抜き型を作り、上から水彩絵の具を付けたスポンジ(布で綿を包み輪ゴムで止めたもの)で色を付けていく。画用紙に練習した後デザインボードに本番の絵を描いた	小学生	300	20	33	19	
	ぼんぼんステンシル いろんな型紙で絵を描こう[B]	8月9日(金) 13:30～17:00					20	20	18	
	ぼんぼんステンシル いろんな型紙で絵を描こう[C]	8月10日(土) 13:30～17:00					20	26	18	
	100年前の Chapeau(シャポー)[A]	8月18日(日) 10:30～12:30			小学生 + 保護者	19世紀と20世紀の流行のスタイルの中からシルクハット、ナポレオンハット、ボンネット、トーク帽の4種類をピックアップし見本を作っておいた。展覧会鑑賞後、4種類の中からベースを選びアレンジを加えて、各自色画用紙で帽子を作った	ひとり 200	10組	14組 32名	8組 18名
	100年前の Chapeau(シャポー)[B]	8月18日(日) 14:00～16:00						10組	8組 18名	7組 16名
	100年前の Chapeau(シャポー)[C]	8月23日(金) 10:30～12:00						10組	7組 15名	6組 14名
	100年前の Chapeau(シャポー)[D]	8月24日(土) 10:30～12:00						10組	3組 6名	3組 6名
	100年前の Chapeau(シャポー)[E]	8月25日(日) 10:30～12:00						10組	4組 8名	3組 7名
	100年前の Chapeau(シャポー)[F]	8月25日(日) 14:00～15:30						10組	3組 6名	2組 4名
						120	247	179		

計12回 参加者延179名

ギャラリートーク

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
牧野邦夫展	4月20日(土) 15:00～	五味 文彦 (画家) × 野地 耕一郎 (当館学芸員)	ゲストと担当学芸員による ギャラリートーク		観覧料			40
	5月4日(土) 15:00～	諏訪 敦 (画家) × 野地 耕一郎 (当館学芸員)			観覧料			80
	5月18日(土) 15:00～	石黒 賢一郎 (画家) × 野地 耕一郎 (当館学芸員)			観覧料			60
	6月1日(土) 15:00～	山下 裕二(明治 学院大学教授) × 野地 耕一郎 (当館学芸員)			観覧料			270
コレクション展	6月9日(土) 13:30～	真子 みほ (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク		無料			30
	6月15日(土) 14:00～							30
N+N展	6月30日(日) 14:00～	大槻孝之(出品 作家)笹井祐子 (出品作家) × 藤原成一(評論 家)	出品者によるギャラリート ーク		無料			40
鹿島コレクション3 展	7月27日(土) 15:00～	鹿島 茂 (フランス文学者)	出品者によるギャラリート ーク		観覧料			150
宮芳平展	9月21日(土) 15:00～	野地 耕一郎	担当学芸員によるギャラ リートーク					観覧料
	9月28日(土) 15:00～							観覧料
	10月12日(土) 15:00～	喜多 孝臣 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク					観覧料
	10月19日(土) 15:00～							観覧料
	10月26日(土) 15:00～							観覧料
	11月2日(土) 15:00～							観覧料
	11月16日(土) 15:00～							観覧料
							328	
渡辺千尋展	12月21日(土) 14:00～	中林 忠良(東京 芸術大学名誉教 授・版画家)	作家縁のゲストによるギャラ リートーク		無料			60
	1月11日(土) 14:00～	小野 寛子 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク					30
	2月1日(土) 14:00～							30
野口哲哉展	2月21日(金) 16:00～	山田 五郎(評論 家)×野口 哲哉	作家と3人のゲストによる対 談					観覧料
	3月8日(土) 15:00～	山下 裕二(明治 学院大学教授)× 野口 哲哉						観覧料
	3月22日(土) 15:00～	諏訪 敦(画家)× 野口 哲哉						観覧料
								1448

計20回 参加者延1,448名

講演会、シンポジウム等

事業名	日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
N+N展関連シンポジウム	7月6日(土) 14:00～15:30	大西 若人(朝日新聞編集委員)、 蔵屋 美香(東京国立近代美術館美術課長)、高橋幸次(美術学科教授)、 富井 大裕(出品作家、美術学科助教)	展覧会のテーマに合わせ、 アートのあり方、現代の作家の姿勢などについて、 話が展開された(於展示室)		無料			50
鹿島コレクション3 関連特別講演会	8月10日(日) 14:30～16:00	鹿島 茂 (フランス文学者、 明治大学国際日本学部教授)	展示中のファッションプレート を中心に、19世紀から20世紀 初頭の時代について御講演 いただいた(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	229	78
	8月24日(土) 14:30～16:00	深井 晃子 (京都服飾文化財団チーフ・キュレーター)	19世紀から20世紀の衣服 の変化、現代衣服の成立 について御講演いただいた (於視聴覚室)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	87	62
宮芳平関連講座	11月23日(土) 15:00～16:30	山崎 一穎 (跡見学園理事 長、森鷗外記念会 会長)	宮と森鷗外の交流を、宮が 残した文章や鷗外の日記 などから探った(於視聴覚 室)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	64	51
野口哲哉展記念 講演会	2月22日(土) 15:00～	藤本 正行 (國學院大學兼任 講師)	画像と文献をもとに、甲冑 の移り変わりや合戦でのエ ピソードを交え、当時の武 士たちの様子をお話しいた だいた。後半は野口哲哉 氏との対談を行った(於視聴 覚室)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	71	64
						280	451	305
						計5回 参加者延305名		

コンサート・ライブパフォーマンス

事業名	日程	出演	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
牧野邦夫展関連	4月27日(土) 15:00～16:00	長谷見 誠(フルート)、神永 睦子(ピアノ)			展覧会 観覧料			130
	5月11日(土) 15:00～16:30	銀河 万丈(声優)	江戸川乱歩「人間椅子」ほ かの読み語り(貴井図書館共 同主催)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	105	75
	5月25日(土) 15:00～16:00	三澤 勝弘(スラメンコギター)、三澤 敦子(カンテソリスト)			無料			150
鹿島コレクション3 関連	8月3日(土) 15:00～	広瀬 敏郎(シャンソン歌手)			無料			160
	8月4日(日) 15:00～16:30	銀河 万丈(声優)	夢野久作「童貞」などの読 み語り(貴井図書館共同主催)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	87	73
宮芳平展関連	10月5日(土) 15:00～16:30	銀河 万丈(声優)	(貴井図書館共同主催)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	72	70
	11月9日(土) 15:00～16:00	大松 暁子 ヴァイオリン、塚田 誠(ピアノ)			無料			130
渡辺千尋展関連	12月25日(水) 14:00～	吉本 大輔 舞踏 天空揺籃、高橋 理通子、 石川 慶			無料			60
野口哲哉展関連	3月1日(土) 15:00～16:30	銀河 万丈(声優)	菊池寛「形」ほかの読み語 り(貴井図書館共同主催)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	67	57
	3月16日(日) 15:00～16:00	前田 善彦(チェロ)・塚田 誠(ピアノ)			展覧会 観覧料			
								905
								計10回 鑑賞者延905名

鑑賞プログラム

事業名		日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
コレクション展	トコトコ美術館 [A] vol.10「花」	6月22日(土) 10:30～11:30	真子 みほ (当館学芸員)	展示作品の中から花が描かれている作品を各自探した後、エルサ・ベスコフ『リーサの庭の花まつり』の読み聞かせ、自分が花になるためのアイテム(ヘアバンド、剣、付け襟等)を色画用紙で制作した	3～6歳 + 保護者	無料	5組	12組 24名	5組 10名
	トコトコ美術館 [B] vol.10「花」	6月22日(土) 14:00～15:00					5組	9組 18名	5組 10名
渡辺千尋展	トコトコ美術館 [A] vol.11「線」	2月8日(土) 10:30～11:30					5組	12組 26名	2組 4名
	トコトコ美術館 [B] vol.11「線」	2月8日(土) 14:00～15:00					5組	11組 22名	1組 2名
									26
							計4回 参加者延26名		

）美術講座（美術に関する知識を学ぶ）

事業名		日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
西洋近代美術史	「19世紀フランス美術：印象派」	10月26日(土) 13:30～15:00	小野 寛子 (当館学芸員)	アカデミーの画家やバルビゾン派から印象派を経て抽象表現への一連の流れを、作品画像を投影しながら解説した	中学生以上	無料	50	94	49
油彩	「写真をもとに描く色の重なりを楽しむ絵画」 (3日間)	1月26日(日) 13:30～17:00	小野 さおり (画家)	F4サイズのカンバスに油彩画を描いた。何度も薄く絵具を重ねていく技法で、丁寧に誰かに対する「ギフト」としての絵画を完成させた	中学生以上	2,000	20	55	20
		2月2日(日) 13:30～17:00							
		2月9日(日) 13:30～17:00							
石彫	「暮らしの中にみるかたち」 (3日間)	3月9日(日) 10:30～17:00	大野 綾子 (彫刻家)	23cm角の江持石を、ノミ及び電動ルーターで、身の回りにある形をテーマに彫った	中学生以上	3,500	15	18	12
		3月15日(土) 10:30～17:00							
		3月16日(日) 10:30～17:00							
							85	167	81
							計3回 参加者延81名		

） 美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
四季のみじたく 夏のみじたく 「釉薬いろいろ陶器の コースター」	6月23日(日) 13:30～17:00	瀬川 辰馬 (陶芸家)	粘土で成形した後、科学実験のように粉を量り混ぜ合わせオリジナル釉薬を作り塗った。焼成は講師が行い後日美術館から各参加者に配送した	小学5年生以上	1,500	20	39	16
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ遊び【A】	8月11日(日) 10:30～12:30	真子 みほ (当館学芸員)	館内を探検しながら様々な場所に紙を当て鉛筆でこすり出す方法(フロッタージュ)を使って、美術館をつかまえた。紙は毛糸で綴じ冊子状にして持ち帰った	5歳～ 小学3年生	100	10	9	9
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ遊び【B】	8月11日(日) 14:00～16:00					10	10	8
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ遊び【C】	8月16日(金) 10:30～12:30					10	14	10
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ遊び【D】	8月17日(土) 10:30～12:30					10	10	9
四季のみじたく 秋のみじたく 「言葉と紙のコラージュで作るわたしだけの「秋の言葉」辞書」	9月29日(日) 13:30～17:00	しおいり あさこ (作家) 尾花 大輔 (グラフィックデザイナー)	異なる単語が書かれたカードを組み合わせて言葉遊びをした後、秋の言葉を「あ」から「ん」まで考えた。PCに取り込んでいる間に紙をコラージュして表紙を作り、プリントアウトしたすべての言葉を綴じて辞書を完成させた	小学4年生以上	1,000	20	12	12
四季のみじたく 冬のみじたく 「糸と布 いろいろあわせてポケットづくり」	11月23日(土) 14:00～17:00	mafuyu (ニット作家)	講師の用意したニットの端切れをもとに、布などを組み合わせてポケットを作り参加者が用意したバックや洋服に縫い付けた	小学4年生以上	1,000	15	15	11
四季のみじたく 春のみじたく 「葉っぱで染めて糸で刺繍」	3月30日(日) 10:30～16:00	奥田 早織 (布作家)	草木染めた糸を使って帯状の布に刺繍し、アクセサリーを作る	小学生以上	500	20		
						115	109	75
						計8回 延75名		

） その他

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
軽井沢お泊りワークショップ	11月9日(土)～10日(日) 1泊2日	横山 さちこ (フラワーアーティスト)	ベルデ軽井沢で一泊二日のリース作りのワークショップを行った	小学生～大人 (小学生は保護者と共に申込)	大人 9,500 子ども 6,600	20	35	20
商店街を楽しむワークショップ	3月28日(金) 10:30～16:00 3月29日(土) 10:30～16:00	真子 みほ (当館学芸員)	サンツ中村橋商店街を探検して見つけたもの、気になるものを絵具で大きなフラッグに描き商店街に飾る	小学生と保護者	無料	20		
						20		
						60	35	20
						計3回 延20名		

館内事業計65回 参加者延3,039名

## 学校関連事業

) スクールプログラム 4月にパンフレットを作成し区内小中高等学校に配布。申し込みの際は用紙に記入し送付していただいた。

### 団体鑑賞

展覧会	日程	内容	学校名	生徒数	引率
牧野邦夫展	5月18日(土) 15:30~17:40		武蔵大学・アートワークショップ履修生	16	1
	5月26日(日) 11:30~12:20		武蔵大学・博物館学履修生	30	1
	5月29日(水) 13:30~14:15		慶應義塾志木高等学校・1年A組	43	1
鹿島茂展	8月8日(木) 10:30~15:30	鑑賞 + ステンシル体験	新座市陣屋放課後児童保育室・1~6年生	43	4
	8月29日(木) 10:00~12:00		練馬区立大泉桜学園・美術部	11	1
宮芳平展	10月4日(金) 10:45~11:30		山崎学園富士見中学校・2年桜組	39	1
	10月4日(金) 13:20~14:05		山崎学園富士見中学校・2年桃組	40	3
	10月8日(火) 10:45~11:30		山崎学園富士見中学校・2年竹組	39	2
	10月8日(火) 11:45~12:30		山崎学園富士見中学校・2年菊組	40	2
	10月8日(火) 14:20~15:05		山崎学園富士見中学校・2年松組	39	2
	10月10日(金) 11:45~12:30		山崎学園富士見中学校・2年梅組	39	3
渡辺千尋展	12月12日(木) 10:30~12:30	鑑賞 + 消しゴムハンコ作り	都立志村学園高等部・1,2年生	2	2
	1月11日(土) 10:00~10:20		練馬区立練馬第三小学校・6年生	68	3
野口哲哉展	2月21日(金) 10:45~12:15		練馬区立練馬第三小学校・5年生	46	3
	2月27日(木) 10:45~12:15		練馬区立練馬第三小学校・4年生	55	3
	3月8日(土) 10:00~15:00	鑑賞 + 新聞紙張り子兜作り	入間市立中央公民館 小学1年生~中学生	17	11
	3月13日(木) 10:00~10:45		練馬区立石神井東小学校・5年生	47	3
				614	46
				計17回 延660名	

施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介した

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	引率
施設見学	5月21日(火) 13:30~14:30		日本大学芸術学部・博物館実習履修生	60	1
	5月24日(金) 13:30~14:30		日本大学芸術学部・博物館実習履修生		1
	7月6日(土) 16:00~17:00		立教大学・博物館資料保存論履修生	8	1
	11月23日(土) 10:00~10:45		武蔵大学博物館経済論、資料保存論履修生	40	1
	11月23日(土) 11:00~11:45		武蔵大学博物館経済論、資料保存論履修生		1
					108
				計5回 延113名	



職場体験 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝えた

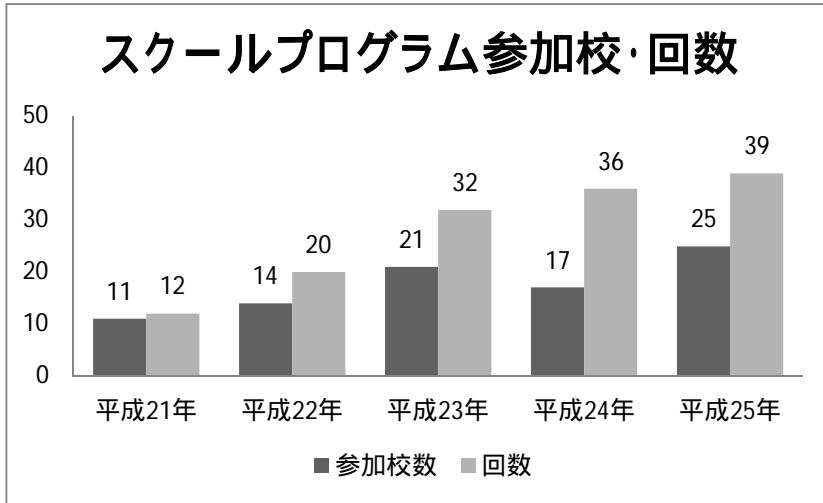
コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	見回り
職場体験	6月25日(木) ~ 26日(金) 9:30 ~ 15:00	6月7日(金)	練馬区立関中学校・2年生	3	1
	6月27日(木) ~ 28日(金) 9:30 ~ 15:00	6月14日(金)	練馬区立石神井西中学校・2年生	1	1
		6月11日(火)	練馬区立光が丘第一中学校・2年生	2	1
	7月2日(火) ~ 3日(水) 9:30 ~ 15:00	6月28日(金)	練馬区立石神井中学校・2年生	3	1
	9月19日(木) ~ 20日(金) 9:30 ~ 15:00	9月13日(金) 15:00 ~	練馬区立貫井中学校・2年生	3	0
	9月26日(木) ~ 27日(金) 9:30 ~ 15:00	9月18日(水) 15:30 ~	練馬区立光が丘第三中学校・2年生	2	1
		9月13日(金) 15:00 ~	練馬区立練馬東中学校・2年生	1	1
	10月24日(木) ~ 25日(金) 9:30 ~ 15:00	9月20日(金) 15:00 ~	練馬区立開進第四中学校・2年生	2	1
	11月20日(水) ~ 21日(木) 9:30 ~ 15:00	11月7日(木) 15:00 ~	練馬区立大泉第二中学校・2年生	3	1
	1月15日(水) ~ 16日(木) 9:30 ~ 15:00	1月9日(木) 14:45 ~	小金井市立緑中学校・1年生	3	1
	1月23日(木) ~ 24日(金) 9:30 ~ 15:00	1月16日(木) 15:30 ~	練馬区立豊溪中学校・1年生	3	1
	1月23日(木) 9:30 ~ 15:00	事前打合せ 12月12日(木) 事前訪問 1月16日(木)	練馬区立中村中学校・1年生	インフルエンザによる学級閉鎖の為中止	
	1月31日(金) 9:30 ~ 15:00	1月17日(金) 13:30 ~	練馬区立大泉学園中学校・1年生	3	1
	2月6日(木) ~ 7日(金) 9:30 ~ 15:00	1月30日(木) 14:00 ~	練馬区立開進第二中学校・1年生	3	1
				32	12
				計13回 延44名	

職場訪問 生徒が来館しインタビューや館内見学などを行った

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	引率
職場訪問	2月6日(木) 13:00 ~ 14:30	質疑応答、館内見学	練馬区立谷原中学校・1年生	5	
					5
				計1回 延5名	

出張プログラム 担当者が各学校へ赴き事業を行った

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	
出張プログラム	7月24日(水) 14:00～15:30	美術館紹介、 団体鑑賞の事 前準備	新座市陣屋放課後児童保育室・1～6年生	40	
	10月2日(水) 11:45～12:30	団体鑑賞の事 前解説	山崎学園富士見中学校・2年生	246	
	1月11日(土) 10:45～11:30	団体鑑賞後の 版画実演・体 験	練馬区立練馬第三小学校・6年生	68	
				354	0
				計3回 延354名	



スクールプログラム 計24校38回 参加児童・生徒・学生 延1,176名

）ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設けた。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とした。

展覧会名	日程	参加人数
牧野邦夫展	4月23日(火) 15:30～16:30	13
鹿島茂コレクション展	7月23日(火) 15:30～17:00	11
宮芳平展	10月8日(火) 15:30～16:30	15
野口哲哉展 2月18日が大雪の為 延期	3月4日(火) 15:30～16:30	13
		計4回 延52名

）スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製のアートカード(トランプ大・1組104枚)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行った。

これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成したものの。

貸出期間	学校名	使用目的	貸出教材し
1月11日(土)～ 2月25日(火)	練馬区立中村西小学校	鑑賞授業	アートカード:12組 マグネットシートA3版:104枚
計1回			

）その他

学外活動受け入れ 都立大泉桜高校美術部部員 延22名(引率延3名)

日時	参加プログラム名	活動内容	人数	引率
8月9日(金)	13:00～18:00	ぼんぼんステンシル	6名	1名
8月10日(土)		ぼんぼんステンシル	6名	-
8月11日(日)	10:00～17:00	美術館をつかまえる!?	4名	1名
8月25日(日)	10:00～16:00	100年前のChapeau	6名	1名

その他

）団体鑑賞（一般）

展覧会	在館予定	担当	団体名	代表者氏名	参加者
宮芳平展	10月3日(木) 10:15～11:50	喜寿	安曇野市豊科近代美術館友の会	齋藤康子	23
渡辺千尋展	1月16日(木) 10:40～12:00	小野	NHK文化センター柏支社	久保安夫(支店長)	22
野口哲哉展	3月2日(土) 11:00～	加藤	アートテラーとに～ 一行	大山敦士	8
					53
計2回 延53名					

）チャリティコンサート 主催:NPO練馬明るい社会づくりの会

事業名	日程	出演	対象	参加費	定員	申込	参加
東日本大震災復興支援チャリティコンサート	3月6日(木) 15:00～16:00	西江辰郎(ヴァイオリン)・上森祥平(チェロ)・菊地祐介(ピアノ)		無料			133
計1回 133名							

教育普及事業全参加者 計4,478名  
(平成24年度 計4,233名)

## 平成25年度 博物館実習実績

実習実施期間      平成25年9月5日(木)～9月15日(日) < 10日間 >

No	大学名	学部等	人数
1	武蔵野美術大学	造形学部日本画学科	1名
2	共立女子大学	文芸学部分芸学科造形芸術ｺｰｽ	1名
3	跡見学園女子大学	文学部人文学科	1名
4	女子美術大学	美術学科日本画専攻	1名
5	清泉女子大学	文学部文化史学科	1名
6	東洋英和女学院大学	人間科学部人間科学科	1名
7	東京学芸大学	教育学部美術選修	1名
8	武蔵大学	人文学部日本・東アジア比較文化学科	1名
9	実践女子大学	文学部美学美術史学科	1名
10	お茶の水女子大学	文教育学部人文科学科	1名
11	立教大学	社会学部現代文化学科	1名
12	明治学院大学	文学部芸術学科	1名
合		計	12名

(25年度 12名)

## 平成 25 年度ぐるっとパスの利用状況

「ぐるっとパス」とは、東京の美術館・博物館等共通入場券のことである。参加している都内の美術館・博物館計 77 館は、各館の入場券を束ねたパス（冊子になっていて、使用開始日から 2 か月間有効）を 1 冊 2,000 円で販売する。当館でも、観覧者と収入の増を見込んで平成 23 年度から参加している。24 年度には 23 万余円の収益を得た。今年度も同様に収益を見込んでいる。

平成 26 年度には、参加する館が 1 か所増えて 78 館になる予定である。

本年 4 月予定の消費税改定にあわせてパスの値上げも検討されたが、値上げによる売上の減少が懸念されるなどの理由により、見送られることになった。

「ぐるっとパス」事務局（江戸東京博物館内）では、新聞・雑誌等に広告を掲載するとともに、今年度からはフェイスブックを開設し、宣伝普及に努めている。

25 年 4 月～26 年 2 月末の

当館のパス売上数 1 6 7 冊

パスを利用して当館に入場した人の数 1 , 6 7 8 人